

平成 27 年 10 月 30 日

各 位

東京都千代田区内神田二丁目 1 2 番 5 号

株式会社ビーマップ

代表取締役社長 杉野 文則

(東証JASDAQ : 4316)

問合せ先 : 取締役経営管理部長 大谷 英也

(電話 03-5297-2181)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 5 月 14 日および 7 月 23 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	520	10	10	10	3 円 11 銭
今回修正予想 (B)	441	▲82	▲82	▲63	▲19 円 88 銭
増減額 (B - A)	▲79	▲92	▲92	▲73	—
増減率 (%)	15.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	—	—	—	—	—

※ 平成 28 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期第 2 四半期実績については記載しておりません。

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	500	10	10	10	3 円 11 銭
今回修正予想 (B)	441	▲83	▲83	▲64	▲20 円 00 銭
増減額 (B - A)	▲59	▲93	▲93	▲74	—
増減率 (%)	11.8%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	743	29	30	13	4 円 18 銭

2. 修正理由

現時点における決算集計並びに事業進捗状況等を踏まえて、第2四半期累計期間の連結業績予想および個別業績予想を修正するものであります。

当社においては、クロスメディア事業分野における大型構築案件の受注及び進捗により業績が左右される状況が続いている中、大型案件の受注に至るプロセスが長期化しております。この状況を踏まえて、ソリューション事業を中心に、インバウンド需要を取り込むべく小規模無線LANやクラウド型通訳サービス（J-TALK）、テレビから購買への送客を図るo2o2oサービスなど当社独自サービスへの事業転換に取り組んでおります。第2四半期中において、事業転換の成果を上げるには至らず、営業費用等がかさみ、また、事業拡張に備えた人員等の増強で固定費が増加し、損失を計上するに至りました。現在、第3四半期以降に成果を上げるべく取り組んでいるところです。

各事業分野の状況は以下の通りです。

クロスメディア事業分野は、新たな取り組みとして、安価にご利用いただける簡易無線LANサービスの提供を開始し、中小型案件や保守運用も予定通り進捗しましたが、大型案件減少の落ち込みを回復するには至らず、対前期比で売上高・利益とも低下いたしました。

ナビゲーション事業分野は、交通系ICカードに関わる分野への取り組みに注力しましたが、売上高・利益とも当初計画及び前期実績を下回りました。

ソリューション事業分野は、インバウンド向けのソリューションに注力すべく、同時通訳サービス「J-TALK」や映像配信システムに取り組んでおり、また、o2o2oサービスの年度内展開にむけて準備しております。子会社である株式会社こんぷりんによるコンテンツプリントサービス「こんぷりん」は、コンビニへの顧客誘導で評価を得ておりますが数値は小規模に留まっております。売上高・利益とも当初計画及び前期実績を下回りました。

通期の見通しにつきましては、今後の各事業の進捗・見通しの精査とともに、税効果会計など重要な未確定事項があるため、今回、見直しは行っておりません。

(注) 上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

(注) 平成28年3月期第2四半期決算短信につきましては、平成27年11月6日に発表する予定です。

以 上